



健やか 福祉のたより 第32号

たつかわ

発行

令和7年3月10日
竜川地区社会福祉協議会
会長 元木 隆

生活様式の変化や少子・高齢化時代の到来により、竜川地区では、高齢者世帯や単身者世帯が増加し、地域意識の希薄さに伴い、自治会やPTA等の組織率低下が顕著です。隣近所との触れ合いも少なく、次世代に継承する地域活動の担い手不足などの課題が、表面化しています。

こうした中、令和7年度を初年度とし、11年度を目標年度とする『第5次 竜川地区地域福祉活動計画』の策定に向けて、令和6年10月に委員会がスタートしました。

これまで、策定委員会では会議を重ね、協議・検討を加えておりますが、今回は、この活動計画について、福祉目標や重点項目について概要をお知らせします。



食生活改善推進員の手作り料理に舌鼓を打つ！



赤ちゃん親子とお年寄りの三世代交流会

受賞おめでとうございます

◎ 令和6年の秋の褒章で、長年にわたり公共の利益に貢献した人に贈られる「藍綬褒章」を、調停委員功績により、木徳町 大塚 京子さんが、受章されました。心よりお祝い申し上げます。

◎ 令和6年度善通寺市社会福祉大会において、地域の社会福祉活動に貢献された次の方々が表彰されました。受賞おめでとうございます。

なお、敬称は略させていただきます。



大塚 京子さん

● 善通寺市社会福祉協議会会長表彰 ◆ 社会福祉事業奉仕者 大西 政子

● 善通寺市社会福祉協議会会長感謝状

◆ 特別功労者 ふれあい・いきいきサロン、木徳北部サロン、サロン「室の辻」、ふれあい「金蔵寺サロン」、ふれあいサロン「土居」、サロン「すみれ会」、六条なかよし「Aサロン」

◆ 特別会員 香川音響株式会社、寿賀崎建設株式会社、株式会社ゼンショク、丸善織物株式会社、元木建設株式会社、田所医院、有限会社ジャンボうどん高木、医療法人社団功寿会、藤沢医院、大西 寛、真部 正孝、草薙 昭典

● 善通寺市共同募金委員会会長感謝状 藤村 京子



第5次竜川地区地域福祉活動計画の策定を目指して

“つながる たすけあうまち 竜川”



令和7年度から11年度までの竜川地区の福祉活動計画について、第1回目の策定委員会を令和6年10月30日に開催しました。当日は、善通寺市社会福祉協議会から大藤氏、平井氏、入江氏の3名の方々にも参加をしていただき、竜川地区を取り巻く課題や、その課題に対して地区としてどのように解決を図っていくか等について、ご指導をいただきました。



ポストイットで、参加者全員が意見を提案する

まず、竜川地区の課題としては、住民へのアンケート調査等によると、高齢者や単身者世帯の増加の外、自治会未加入世帯の増加等、新旧住民の交流が少ないことから、地域活動の担い手不足等があげられます。また、買い物や通院等の日常生活が困難な世帯や高齢者世帯・子育て世帯の孤立化が懸念されています。

これら課題に対し、「つながる たすけあうまち 竜川」を福祉目標に掲げ、重点項目として、「①住みよい地域づくり活動の推進 ②高齢者支援活動

の推進 ③地域と子どもの交流 ④組織・財政の強化」の4項目を掲げて、今後の策定委員会の中で具体的に取り組む施策等を議論して取りまとめ、第5次の地域福祉活動計画として策定します。なお、新たに策定された地域福祉活動計画の概要等につきましては、今後会員皆様に報告いたしますので、引き続きご支援・ご協力をお願いします。

外出支援事業で、観音寺市の宝泉寺を訪ねる！

竜川地区社会福祉協議会では、15地区で年間58回のバスによる外出支援事業を行っております。

今回は、令和6年11月29日に金蔵寺西部サロンの皆さんが、秋も深まり、紅葉が真っ盛りの観音寺市の「宝泉寺」を訪ねました。

境内を散策しましたが、赤と緑のコントラストが鮮やかで、楽しい一日を過ごしました。



鮮やかな紅葉に心も和みます



●令和6年度 竜川地区安全安心ポスターコンクール



竜川地区安全安心パトロール隊では、小学生を対象に啓発ポスターを募集しており、多数の方の応募がありました。審査の結果、次の方々が入選し表彰されました。

優秀賞 (5点)

市長賞	6年	吉井	愛来
教育長賞	2年	太田	智晴
市議会議長賞	5年	杉本	瑚都乃
会長賞	5年	柳原	希実
会長賞	4年	土井	鈴華

佳作 (13点)

1年	・池上 悠希	・宮脇 央雅	・吉井 絢大		
	・吉村 玲菜			市長賞・吉井さんの作品	議長賞・太田
2年	・岩崎 碧人	・重谷 風奏	・井浦 煌介	3年	・齊藤 柚希
4年	・野田 樹空	・眞鍋 伊地香	5年	・森川 侑陽	6年
					・吉井 葵大
					・内藤 歩



市長賞・吉井さんの作品



議長賞・太田さんの作品

●竜川地区赤ちゃんの写真展

竜川地区健康推進協議会は、令和6年10月26日、公民館において、令和5年8月1日から令和6年7月31日までに生まれた赤ちゃんの写真展を開催しました。

少子化の進む中、竜川地区では大勢の赤ちゃんが誕生しました。

「地域の皆さん、僕たち、私たち、これからよろしくお願いします！」



●福寿会による社会奉仕活動



竜川福寿会では、令和6年9月20日、社会奉仕活動の一環として、木徳地区は新羅神社、原田地区は春日神社、金蔵寺地区は児童公園において、それぞれ一斉清掃を行いました。清掃後は、見違えるようにきれいになりました。

シルバーパワーで
きれいになった神社の境内



●「地震だー!」避難所開設・運営訓練が実施された

令和7年2月8日、南海トラフ地震に備えて、竜川自主防災組織の防災訓練がありました。訓練は、マグニチュード8.0の地震が発生し、市内では震度6弱の揺れにより、道路の損壊や家屋の倒壊等で、指定避難場所まで行けないことを想定して実施。当日は117名の方が参加しました。

今年は、原田地区で開催され、会場の竜川小学校の体育館では、けが人の応急処置、AEDの使用法、消火器による消火訓練の外、今回初めて起震車による震度6弱の揺れも体験しました。



逃げ出せなかった“震度6弱”の揺れ

警察からのお知らせ



〈特殊詐欺・投資詐欺やロマンス詐欺にご注意を!〉

交流サイト（SNS）を介した投資詐欺と恋愛感情に乗じたロマンス詐欺、特殊詐欺の被害が急増しています。SNS型の投資・ロマンス詐欺は260件（前年比+136件）で、被害額約23億7,300万円（前年比+約10億9,000万円）と増加し、特殊詐欺についても233件（前年比+62件）で被害額6億7,728万円（前年比+約4億6,951万円）と増加しています。

「必ず儲かる。」等と投資を持ちかけるメッセージや、SNSで知り合った相手を安易に信用しないようにしてください。

〈横断歩道は歩行者が優先です〉

ドライバーのみなさん、横断歩道は歩行者が優先です。横断歩行者がいるときは、車両等は横断歩道や停止線の直前で一時停止をして、その通行を妨げてはいけません。

また、車両等は横断歩道上等に接近する場合、横断歩道や停止線の直前で停止できるような速度で進行しましょう。運転時は前をよく見て、安全運転に努めましょう。

歩行者のみなさん、明るい色の服の着用や、反射材等を活用し、ドライバーに自分の存在を早期に知らせましょう。

令和6年 ふれあい・いきいきサロンの活動報告書

No.	グループ名	代表者	開催日	開催場所	実施回数	参加延人数
1	木徳北部サロン	小田 仁志	第3土曜日	木徳北部会場	11	156
2	サロン室の辻	藤平 清和	第2土曜日	木徳室の社会場	12	92
3	金蔵寺サロン	山地 國孝	第3土曜日	金蔵寺本村会場	9	68
4	サロン土居	宮脇 文雄	第1・3土曜日	原田土居会場	20	118
5	すみれ会	宮脇スズ子	第1月曜日	原田宮会場	12	75
6	六条Aサロン	河並 節子	月末	金蔵寺六条会場	1	8
7	草花を囲む会	大井 成子	第1・3火曜日	オレンジカフェ	16	121
8	六条Bサロン	大西千代子	第2月曜日	六条地蔵庵	11	91
9	サロン金下	石川 孝子	第2火曜日	金蔵寺下所会場	14	140
10	西部サロン	中川 和憲	第2土曜日	金蔵寺本村会場	6	54
11	木曜サロン	増田留美子	第2・4木曜日	土居団地集会場	25	143
12	ほのぼの	片長 時夫	第3木曜日	原田五条集会場	12	69
13	なんができよんな	宮内 寛	第2木曜日	原田四条自治会館	4	28
	「わいわい亭」	元木 隆	毎週火曜日	金蔵寺本村会場	44	457

編集後記

「寒いですね。」が最初の挨拶言葉となった極寒の今年の冬。次々と日本列島に押し寄せる寒波に、不用不急の外出を避けるように呼びかけられた日もありました。ようやく寒さの出口が見えてきた今日この頃ですが、会員の皆様は、お元気でお過ごしでしょうか。

1月28日午前10時頃、埼玉県八潮市で大きな事故が発生しました。道路が陥没し、その穴に落下したトラックの運転手さんが未だ救出されていません。また一時は、下水道の使用制限が120万人の人々に及びました。下水道管の老朽化が原因らしいのですが、この事故は決して「対岸の火事」ではありません。下水道に限らず全国の社会インフラは老朽化が進み危険な状況にあります。私たちの住む善通寺市も同様です。下水道事業は市町が管路等の整備、管理、更新を行っています。一方で、下水道の使用料収入等では賄いきれない赤字会計の事業でもあります。今後は、上水道事業のように香川県を主体とした各流域での事業を一本化し、効率化、健全化を図り、一刻も早い対応が必要です。

竜川地区社会福祉協議会は、「もの言う組織」として、様々な地域課題に積極的に取り組んでまいります。

竜川地区社会福祉協議会広報紙「たつかわ」編集委員 横山 孝信・大西 智晴